

めだかの学校だより

平成12年8月1日

第29号

学会：いなさ自然休養村

〈つみくさ〉

事務局：引佐郡引佐町

東久留女木 472-111

TEL 053-545-0381

校長訓話

第二十九回校長 水野忠義

光り輝け十七才 新世紀へ跳べ

- ・おはようございます
 - ・いただきます
 - ・ごちそうさま
 - ・いってらっしゃい
 - ・いってきます
 - ・ただいま
 - ・おかえりなさい
 - ・おやすみなさい
- 家族が一日に交わす「あいさつ」は、八つあります。
- この当たり前の「あいさつ」が、親子で、家庭内でごく自然に交わされたら、「非行や家庭内暴力などは絶対に起こらないだろう」と、あるご住職のお話。
- 親が子供ときちんと向き合って本当の気持ちを知り合うことが大切。
- 「挨拶」の【挨】には「ひらく」
【拶】には「接する」
の意があります。
- お互いの「こころを開き合い」相手と「暖かく接したい」ものです。
- 「昔」…三田明の「美しい十代」の唄が流行り、若者たちが青春を謳歌した。



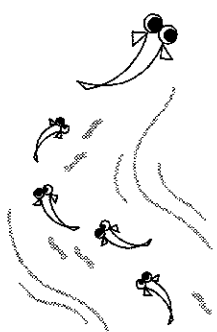
「今」…おばあさんが、二人の若者に年を尋ねた「貴方はお幾つですか」
若者「来年十八才になるよ」
若者「去年は十六才だったよ」
と、…ニコマさんが…にあった。
昨今、多発する悲惨な少年犯罪事件が「華の十七才」を隠してしまう。
2000年もあと僅か、明るく希望に満ちた若者を新世紀（あした）に向かつて送り出したいものです。

【忙】は現実・【楽】は夢か
時間のイメージを感じ一文字で表すと二十世紀は「忙」で仕事や育児などに没頭した。二位以下は「速」「動」「流」など激動の時代を表す文字がつづく。

二十一世紀のイメージは【楽】が一位 二十世紀より増やしたい時間は「趣味」「睡眠・急速」とか、減らしたい時間は「仕事」「家事・育児」と理想と現実の違い浮き彫りに。

【道徳と経済】報徳の教え
我国の経済・金融の破綻はバブル崩壊とともに国民生活に大きな負担となつていきます。二宮尊徳（金治郎）の教えに「勤労」「分度」「推譲」があります。経済中心のエゴイズムから脱却・二十一世紀の日本と国際社会を考えると、地球環境に置き換えれば

「推譲」は（国際貢献）
「分度」は（省資源・CO₂削減）
を考えなければならぬ。
「経済のない道徳は寝言である」
道徳のない経済は犯罪である」
二十一世紀こそ「推譲・分度」という「報徳の精神」が大切になってくるものと考えられます。



めだかの学校伝言板

…… 第29回めだかの学校を開校するので出席しなさい。 開校日／平成12年9月1日(金) 6:20PMより ……

校長／水野 忠義・教頭／大谷 一代 受付／今井正生・寺田悦子・井下美乃
用務員／山下 正 加茂光廣(後見人)

給食係／山崎敏明・服部守孝・耳塚信博
徳増兼弘・深澤明男・野村徳子
佐野文子・高森久枝・鈴木正子
藤田秀子・渡辺三ツ子(チーフ)

・今回メモなく、担当が違っているかもしれませんがお許しを。
欠落している人は連絡ください。

<学舎> 静岡県引佐郡引佐町奥山1737-286
いなさ自然休養村「つみくさ」
TEL 053-543-0321 (開校日のみ)

<時間割>

去りゆく夏を惜しみながら野外教室

ドリーム&ファンタジー

「星に願いを!!」

『あなたの幼かった頃の夢、いまある夢を』

「星に願いを」の音楽をバックに

夜空の星に願いをこめて語ろう21世紀へ…

泳ぎ回るめだかたち

■山間地「南信濃村」で
 ぶんばる玉置メダカ
 「特産物加工施設」
 立ち上げ8月オープン

榊原さんから励ましの手紙を頂いて「たいへん有り難いなあ」とつくづく思っております。

実は前回(28回)の「めだかの学校」に出席した時には気分一新何か自分を変えたいを考えながら引佐へ向きました。又、現在取り組んでいる仕事への協力要請もあつたのです。

所謂全国の過疎地域、何処にでもある補助事業名「特産物加工施設」の立ち上げです。たぶんにもれず農水省の事業で、総事業費一億二千万円。りっぱなこの建物は、今年六月に温泉施設に隣接して完成しました。

しかしソフトは：これからなんです。担当者としてへんな言い方ですが、ある程度それなりの数字と作文で補助金が流れてきます。しかし、実際にこの施設をこれから運営していくのは村の人達で、全員の素人の集団です。ランニングコスト、人件費：失敗は許されません。成功しなれば：いろいろ考えるとパニック。そこで榊原さん曰く「二人じゃないですよ。ちよつと振り返つて回りを見て、協力者をつくる。お願いして」と言うわけで、事情を説明し、めだかの生徒の「春華まつり」の松本泰榮さんと、給食チーフの渡辺三ツ子さんに協力を要請しました。菓子・惣菜、漬物、飲食の許可の下りた施設で、先ずは「温泉饅頭」の挑戦です。すでに何回か指導に来て頂くなかで、「松本さん達の熱意に報いるためには、後はやるべきやない」と、この施設を運営する「花いかだ」のグループ員は言っております。

8月オープンに向けて何とか動き出した感じですが。

この施設は単なる加工施設ではなく、「食」を通じてみんなでワイワイガヤガヤの拠点にしたい当初の思いがあります。ワイワイガヤガヤの過程で何かを発見し、それぞれを高め合うことができれば面白い施設になると思います。大勢の周りの人達のお陰で元気が湧いてきました。めだかの皆さんには、ぜひ来てもらいたい、と考えています。

(長野県南信濃村 玉置洋一メダカ)

※松本メダカと渡辺メダカを7月19、20の2日間、1泊で玉置メダカの助っ人に行ってきました。お風呂もあるよ、食べものもあるよ、赤石山脈というおいしい自然もあるよ。なんたって人間がおいしい自然らしいよ。さあ、天竜川の上流へと泳いでいこう。

(パラメダカ)

■そば小屋「ふんど」を訪ねて

七月の第一土曜日に、めだかの生徒で岐阜県美濃加茂市の長谷川さんが主宰されている「そば会」に家内と二人で行ってきました。

名神高速小牧インターから、国道四一号線を高山方面に北上し木曾川を横断する美濃大橋を渡ってすぐの住宅地に「そば会」がいつも開かれていた。「そば小屋」が「ふんど」があった。そば小屋というので、小ぢやなプレハブか何かと思つていたら、新築二階建ての立派な建物で、一階は三十畳近くある広間の周りにそば打ち部屋と厨房が設けられ、二階は拝見する暇がなかったが誰でも気軽に泊めて頂けるようになったので、「ワシントンホテル」ではなく「ワシントンホテル」だそうである。他の参加者よりも早く行つて、そばを打ちを見せて頂いたが、とにかく無駄と無理がなく、しかも丁寧でいつの間にかそばになつていく。特に「包丁」は見事で、まさしく名人わざを目の前で見せて頂いた。

た。正午から始まった「そば会」は、我々を入れて十五人ほどで、長谷川さんのお話の後、「そばがき」から順に七種類のそばが出された。最初の「そばがき」は味も凄かったが、その作り方は簡単にはお伝えできない。私もそばがき作りをやらせてもらったが、やはりはじめてでは、全くだめであった。

次は、純粋の「ざる」で、挽きたての少し粗挽きの粉で打った二八そばを上等のかつおだけの「だし」と高級濃口醤油を使った「かえし」で作られた「つゆ」で頂いた。とにかく美味し、高速道路を使つて岐阜県まで来たかと思つた。三番目は、まるで水のように見える昆布のだし汁だけをかけてそばである。こんな食べ方があるというのを知つただけで、いっばしのそば通になつた気分になれる。その次は、「邪道そば」といって長谷川さんのオリジナルの食べ方だそうであるが、麵打ちの過程で出た切れ端などを生ゆでにして、ステーキソースとマヨネーズで混ぜて作った「たれ」と混ぜて食べるのである。全く邪道な食べ方なので「邪道そば」と呼んでいるのである。こんなそばの食べ方は認めたくないが、無条件でうまいと言わざるをえない。このほか、「おろしそば」と「山かけ」、つゆの代わりに生卵の黄身と少しの醤油をからめて食べる「たまごそば」が出された。

とにかく、そばへのこだわりと研究熱心さには驚くばかりで、奥様と絶妙なコンビでもてなして頂き、あつと言う間に時間が過ぎてしまった。ここまで読んで頂いて、皆さんもおいしくないでしょうか。食べたくなつたのではないのでしょうか。長谷川さんの「そば会」に参加したい方は、バラさんか当方にお問い合わせ下さい。御紹介します。気になるお代は、現在のところ長谷川さんは商売ではありません。で、参加者の気持ちという事です。

(なんでもあり農園「小作人の松」)

イベント まつり情報

●この春私の住む
 小さな集落信濃村は
 枯木に花の咲いたごとく
 にぎわいました

めだかの学校のみなさんには、大勢の方たちに来て頂いて、会場のディスプレイやエールを送って下さいました。めだかの学校のネットワークの強さを感じほんとうにうれしく思いました。ここでも、頑張れば元気に暮らせることを実感致しました。8月には、信濃村、七夕祭りと星を観る会、桜の園の下草刈り。9月は竜宮太鼓と沖繩料理を計画致しました。どうぞまた応援して下さい。

竜宮太鼓 14時～16時
 沖繩料理 15時～17時
 (すみれ草 尾上美智子)

●2000年の節目！ 合同フォーラム

静岡県内で組織、活動する地域づくり団体の集合体、「しずおか未来づくりネットワーク」地域学会「未来づくり学士会」の3団体が一同に介して、これまでの十年を振り返り、また、これからの新たな十年、そして百年：未来に続く地域づくりの方向性、可能性、方法をみんなで議論していこう、というものを、「参加と連携」というサブテーマにのせて、石川県知事の基調講演、3団体の活動事例報告と問題提起、分科会での討論そしてお楽しみの大交流会など：また、開催方法も、今までの県におんぶにだつたこの体質から脱却、企画から運営のすべてこの体質から脱却のメンバーによる実行委員会を進められています。「めだか」からは、私をはじめ榊原、本島生徒も参画。さて、どんなことになるのやら？とにかくまず参加、そし

て連携へ！不参加、非連携にならないように皆さんの御参加をお待ちしています。

合同フォーラムの予定
とき 11月20日(日)

※10月初旬には参加募集を開始の予定です。
今からは非、予定に入れておいて下さ

(遠州横須賀倶楽部 鈴木武史)

●大東町 「宝壽庵で琵琶を弾しむ会」

秋の一夜、小さな「いおり」、琵琶の音、幽玄の世界へ！明石メダカが待っています。いままで参加するだけの「まちづくり」でしたが、多くの出会ひの中で、私も何か、という重い日増しに高まっていく中、私の生家の庵が庵主不在となり10数年、その間地域の人が懸命に守り保存してくれていますが、思い出深いこの庵で、琵琶の調べを弾しむながら秋の夜長をすすむことにしました。「そんな私の思いに地域の人々が私を応援してくれて、9月30日(土)に、「琵琶を弾しむ会」を催すことになりました。午後一時から九時半まで。一時、五時青空市、三時から銭太鼓、俳句、おどろ、二詠歌、夢街道匠一座のチンドン。夜はかがり火を灯して六時〜七時半まで大橋守氏の薩摩琵琶演奏会。七時三十分〜四十五分まで瞑想。八時〜九時半まで交流会。楽しみがいっぱい。青空市には春野町の尾上メダカや、湖西市のおらんビッグ 佐原メダカ、大須賀町の鈴木メダカなど多くのメダカが地域の人たちと一緒に賛助出展するよ。

交流会参加者は、準備の都合もあるの
で、9月10日までにハガキ又は電話にてご連絡ください。会費は3000円です。
〒437-1435
小笠郡大東町上土方嶺向九六一一
明石ふさ子
TEL・05377413062

●地域づくり東日本交流会議 飯田大会

八月に長崎県で開催される「地域づくり全国交流会」のテーマは、「交流の輪世紀を越えて」だが、9月26日(火)〜27日(水)の2日間にわたって開催される飯田大会は、「大切なもの つなげたい 風土に根ざした地域づくり」である。風土に根ざした地域づくり「とあるように、全体の内容も地域に根ざしたものに統一されている。

大会のプログラムは、9月26日(火)13:00受付、13:30開会/あいさつ、13:50基調講演「共生都市江戸に学ぶ」講師「江戸東京博物館館長竹内誠氏。地域循環社会の一つのあり方として江戸の暮らしが再評価されている。今後の地域づくりの視点を豊富化する意味でも、当時の人と自然の営みや、都市と農村の関わりなどについて話す。

15:30分科会 第一分科会のテーマは「まちの顔」の再生をめざして/中心市街地の活性化。事例報告は、飯田まちづくりカンパニー、佐賀市、北上市。第二分科会のテーマは「持続可能な循環型地域をめざして/環境創造。地球的規模で「環境」がキーワードとなっている今日、新しい農業の育成、資源循環型の地域づくりなどの持続可能な地域社会のあり方を考える。第三分科会は、県境を越えた交流とまちなり/地域間交流。三遠南信交流の具体的な事例などを紹介しながら、行政単位を超えた広域的な交流。連携とそれを生かした産業づくりや地域の活性化を考える。パネラーとして、長野県飯田市の長谷部三弘さん(久堅風土舎)、小本曾亮式さん(根羽村市長)、それと榊原幸雄メダカ。長谷部さんとは、静岡県で開催された全国交流会の分科会「めだかの学校特別教室」のとき先生として話しをしていただいた。それ以来のおつきあい。17:15

終了。18:00より交流会。27日(水)8:30受付 9:00パネルディスカッション(分科会のまとめ)。10:45終了。11:00視察研修。3コースに分かれて市内を回る。15:00閉会、解散。

会場は、全体会議は、飯田文化会館。交流会。パネルディスカッションは、シルクホテル。

パネラーとしてつかまわってしまった。火曜日は定休日なので、断るに断れず、とにかく7年間の「めだかの学校」の実績、昨年から関わっている「三遠南信ひとネットワーク」ゆめまる「の活動について話そうと思っている。本当のことを言えば、パネラーになったことより、また多くの新しい出会ひができることが楽しみだ。長崎県での全国大会には、いろいろな事情で参加できないが、飯田への道程は車で3時間。朝9時に出ても間に合う。人は財産。どう？行きませせんか。

チラシはまだできていないとのこと
問い合わせは
地域づくり東日本交流会議飯田大会
実行委員会、飯田市役所企画課

TEL/0266512214511
FAX/0266515312895

メダカ春秋

◆「薔薇の花に魅入られて」

さきさき薔薇さんから突然薔薇のこと書いて。疲れてヘトヘトでもとも無理って言うのに、「文章と言うのは気合いが入っているのが書くより、それぐらい疲れたやつが書くのがちよよいいんだ」とかナントカ。

で、薔薇栽培始めて一年。お陰様でとても順調。薔薇の調子が良すぎてかえって私はほろほろ。休みなし、どこにも行けない覚悟ではじめて、ホントにそのとお

りになつてしまつて。立つていられなくなるまで働いて寝込んで、その繰り返し。疲れても休まず、病氣にもなれず、家族には丈夫になつたと感心されっぱなし。

スプレー薔薇20品種。約4000株。150坪の温室。(スプレーというものは、一本にミニバラが3輪以上ついているもの)バラ園としてはかなり狭すぎて、なおかつ種類多すぎて。けど私一人でやるには精一杯の面積と株数。何色でも作りたい。売り先はあとから考えればいいや」と、今思えばかなりの冒険をする。ところが少量多品種が功を奏したのか、市場の仲買いに全部買ってもらえることになった。それも市価に左右されることのない安定した金額ということ。今のところは大好評でよく売れています。朝はつらいほうだけど、早朝自分の作ったバラを車に載せ出荷をしながら「ん〜キレイな見たい〜」と今も飽きずにオシアワセな気分。「よっぽど薔薇が好きなんですね」とよく言われる。他人から見てもほんとに好きみたい。何が好きなかなあ。あの目が回りそうなウズ、香り、蕾、色合い、咲き始めから花びらの散るところまで、花芯だけになつてもステキ。それでハーブでもあるし、ドライフラワーにもなる。

最後まで捨てることないことがウント好き。薔薇ってけっこうケチ、貧乏性。毎日一緒にいてあげれば、ちゃんと育ってくれる。そしたらバラに関係することいろいろやつていきたい。私の薔薇で。触つて触れてこんなに気持ちがいいんだもの。

まずは3年、栽培をきつちりこなしてから、というわけで、めだかも休みがち。その言い訳と報告のために書いています。もう倒れてないかと？わざわざ来てくださった方々。ところがどっこい。まだはじまつたばっか。今にみて、薔薇から元気の素ももらえるようになってみせるから
○△□?
(句坂玲子)

トピックス

☆めだかの学校から衆議院議員が誕生しました。みなさんご存じですか。藤枝市から民主党で立候補した津川祥吾さんです。小選挙区では落選しましたが、比例区で復活当選。28歳。七期入学でまだ度も出席できなかつたので知らないのはムリないと思います。こんど「めだかの学校だより」に「国会だより」を書いてもらおうと思つてます。それにしても衆議院議員、太田京子県議会議員、小野泰弘磐田市議員、村松藤雄森町町長、山口善門三ヶ日町議、上嶋裕志細江町議と、行政と市民とのパイプ役がいることは心強い限りです。

☆事務所の水ガメの「メダカ」もたくさん誕生しました。いただいたホテイ草に生みつけられていた卵がかえつたんです。でもほとんどがヒメダカ。20匹ほどかえつたうちの3匹が黒いメダカ。遺伝子からいくとヒメダカの方が強いというから、その影響かもしれない。それにしても可愛いネ。

☆21世紀は「環境」がキーワードとばかりに今年度から静岡県環境部で「環境道場」を開講したので、受講申し込み済み。希望者が多く抽選だったが、榊原幸雄メダカ見事入つてしまった。月2回、静岡市で朝十時、午後四時十五分まで。みっちり講習。記憶力だいぶ衰えて60歳。おや、元校長の原崎小百合さんがいるのではないか。「ハッ」と言われて「エッ」とはいえこの道場めだかを増やすのが目的ではないよ。宇宙から微生物まで幅が広い。12月まで10回だが、8割以上出席ないしは論文提出。

☆11月20日に静岡市グランシップで開催されるしずおか未来づくりネットワーク研修交流大会の実行委員長に鈴木武史メダカがなる。今回から県の補助金は0。「民活独立せよ」と。そんなことから「地域学会」と「県の学士会」の3者合同となる。昨年度は夏目厚司メダカが実行委員長。がんばるメダカたち。あと「つづけ」とは武史メダカの弁。

◆事務局だより

◇残暑お見舞い申し上げます。
くれぐれもお身体にはご自愛を。

さて、いよいよ八期のはじまりです。20世紀最後の年から21世紀最初の年にまたがる期でもあります。生徒のみなさんには、20世紀に忘れものはありませんか？ 21世紀にどのようなものをもっていきますか？ まだ4ヶ月余りあります。29回の開校に際して、生徒のみなさんに、「ちよつと緊張と楽しみ」をお渡しいたします。水野忠義校長をはじめとする三役および職員と7月20日に職員会議を開きました。『9月は星空が綺麗だから外へ出て、去りゆく夏を惜しみながらやろう。それもフアンタスチックに。』幼い頃、憧れやいろいろな夢がたくさんあった。年を重ねながらも変化しつつ今にある夢。そんな夢を短冊にして、星に願いを託そう。』ということになった。先生になりたい「東京駅の駅長さんになりたい」「スチュワードスになりたい」「新幹線の運転手になりたい」「会社の社長になりたい」「達ちゃんのお嫁さんになりたい」「ドラエモンになりたい」……もういろいろ。そのときどきに出合った憧れや現象に夢は変化したものです。でも夢が実現して先生になった人もいます。それぞれの夢は、年を重ねることにいろいろに形を変え、変化し、虚像と創造の世界と現実の世界とが交錯しあっていると思います。9月1日は、フアンタスチックに『50文字以内』にまとめて、星に願いを託そうと思ひます。「タツちゃんの嫁さんになりたい」「宇宙の彼方へといきたい」でもいいんです。星空のもと「ドリーム&フアンタジー」みんなで楽しい夢を描きましょう。「星に願いを！」のバックミュージックにのせて……。出席できる生徒は、当日短冊をご持参ください。

出席できない生徒は、8月26日(土)の返事とともに、事務局までお送りください。大谷一代教頭が代わつて、「星に願い」を語りかけさせていただきます。全員提出してください。必です。校長 水野忠義

キチンとしましょう。

学舎は「つみくさ」のご好意によりお借りしています。来たときよりも美しく、をモットーに、ゴミは各自持ち帰りましょう。給食係に全ておまかせではありません。生徒ひとりひとりの義務と責任です。金銭の問題ではありません。モラルの問題です。

『あつちからかんとして楽天的で挑戦的ころを持つこと。もう一人の自分を見つけたね。もう一人のあなた発掘。いい人生だろう。』「建学の精神」を忘れずに、いつまでも楽しい学校でありつづけたいと思ひます。ご協力をお願いいたします。

事務局 榊原幸雄

イベント情報

●ゆめまるごと語ろうかい

おじゃまします 東栄町 三遠南信ひとネットワーク ゆめまるの総会を兼ねた「ゆめまるごと語ろうかい」が9月15日16日の2日間、東栄町のグリーンハウスを会場に開かれる。大いに夢を語り合いながら東栄町の花祭りの歴史やそれぞれが持ち寄ったテーマから分科会のテーマを決めるなど対話と交流を主目的に行う。会費は1泊3食交流会費も含んで五、五〇〇円。申し込み、お問い合わせはエヌビーネット内 ゆめまる事務局 照井053-1484-1413 または本島慎一郎053-91251-2792まで

■8期の継続手続きを!!
8期は12年9月1日から13年8月31日までです。

申込書を同封いたしますので、8月20日までに継続手続きを済ませてください。

以降の方は、入校・継続は認めませんが、名簿には掲載されませんのでご注意ください。

名簿は9月1日の開校日に配布します。なお、申し込み書が同封されていない場合は、継続手続きが済んでいないことご了承ください。

■各地のたよりの掲載について

各地域でいろいろの催事があると思ひます。次回発行日は、11月1日です。で、10月20日までに事務局又はエヌビー静岡企画室照井泰子さんあて、FAXしてください。

FAX 053-1435-3630

めだかの学校事務局

〒431-2531
静岡県引佐郡引佐町東久留女木
472-1111
「リンデンバウム」内 榊原幸雄
TEL・FAX
053-1445-0381

※「つみくさ」は学舎のみです。すべての連絡・お問い合わせは、「事務局」にお願いいたします。